

次の二つの意見文を読んで、どちらが説得力があるか考えてみよう。
説得力があると判断した方に、を付け、理由を簡単に書いてみよう。

「ストップ！地球温暖化」

最近「地球温暖化」という言葉を耳にすることが増えた。「地球温暖化」の影響で、北極や南極の水が溶け出し、水没する国があったり、生態系が変化して絶滅してしまう生き物がいるというニュースをよく聞く。「地球温暖化」の原因は、二酸化炭素排出量の増大と言われているが、これは私たち人間が快適さや便利さを求め続けてきた結果だと思ふ。だとしたら、地球の未来を守るために私たちができることやすべきことがあるのではないだろうか。身近なことからできる「地球温暖化」を防ぐ取り組みについて考えてみたい。

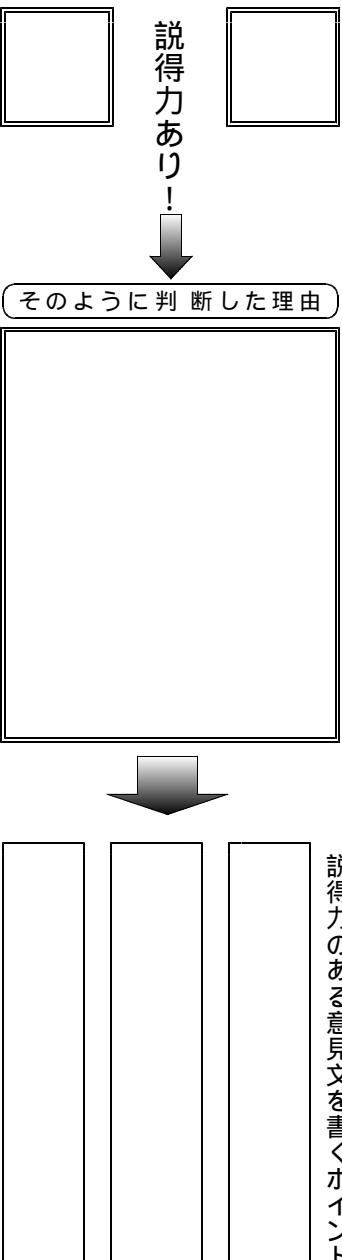
まずは、生活の見直しについてである。エアコンの温度を夏は28度、冬は20度に設定し、使用時間を短くする。冷蔵庫の扉を開ける時間を短くする。入浴はシャワー時間を短くし、残り湯を掃除や洗濯に使う。外出時は、主電源から切って待機電力を減らす。近所での買い物は自転車やマイバックスを持参する。これらは、とりたてて難しい取り組みではないが、計算すると一キロを越す二酸化炭素排出量の削減になる。

次に、学校でも節電、節水呼び掛け、プリント類の裏紙は再利用して使うようにした。この取り組みで、学校の年間電気・水道使用量を数パーセントだが削減することができた。これも今後続けていけば、文房具の生産、発電や水の供給のために発生する二酸化炭素を抑えることにつながるだろう。

さらに、みんなでできることを考え、地域のゴミ拾い活動を行った。道や公園がきれいになると、捨てられるゴミや空き缶やペットボトルの量は自然と減っていった。ゴミ処理のために発生する二酸化炭素を削減することができ、リサイクルで資源の無駄を省くことができるので、この取り組みも有効だと思ふ。

つまり、普段の生活を見直し、無駄を省いていくことが、二酸化炭素排出量の削減につながるということなのだ。「地球温暖化」を防ぎ、自分たちの未来を守るための近道はここにある。

地球の未来を守ることは、私たち自身の未来を守ることである。そのためにできることは、身近なところにとくさんある。身勝手な便利さの追求、それに簡単に便乗する甘えた気持ちの結果が、「地球温暖化」なのである。大切なのは、「それに気付く」こと。みんなが「地球温暖化」に対する危機感をもって、自分の生活を見直す意識をもつことだと思ふ。地球に生きるすべての生き物のためにエコライフを目指そう。



「ストップ！地球温暖化」

最近「地球温暖化」という言葉を耳にすることが増えた。「地球温暖化」の影響で、大気圏のオゾン層が破壊され、地表面の温度が上昇するで、北極や南極の水が溶け出したりするらしい。そのせいで海面が上昇し、水没の危険がある国もあると聞いた。また、海水の温度が上昇したせいで生態系が崩れてしまい、絶滅してしまう生き物もあるそう。地球はどうなってしまうのだろう。とても心配だ。

「地球温暖化」の原因としては、二酸化炭素排出量の増大がある。これは経済の発展にもなつてはく大きな製品がさまざまな工場で生産されるようになったことや、エネルギーを作り出すための火力発電などの過程で発生する量が増えてきたことが理由として考えられるだろう。この二酸化炭素排出量の増大が「地球温暖化」に影響しているのではないだろうか。二酸化炭素排出量を減らすための話し合いが、日本やアメリカなどで行われているのも、この問題が深刻だからだろう。しかし、各国がそれぞれ立場で自分の国の権利を主張するので、話し合いはうまくいっていないらしい。このような状態が続いたら、いったい地球の未来はどうなるのだろうか。

地球の未来を守るためには、「地球温暖化」をくい止めなくてはならない。そのためにはどうしたらよいだろうか。二酸化炭素排出量の増大が「地球温暖化」の原因なら、二酸化炭素排出量を減らせばよいのではないか。例えば、エアコンの設定温度を決めるとか、使用時間を短くする。お風呂に入る場合は、シャワーをあまり使わないようにして、残り湯を洗濯などに再利用する。それから、地域のゴミ拾い活動をしてみたり、リサイクルで資源を再利用するのもよいのではないだろうか。再利用の無駄づかいを減らすことにもなると思う。あとは、買い物にはできるだけ自転車で行くようにして、マイバックスを持参するといふのもよいかもしれない。考えれば、いろいろ取り組みがありそう。

このまま「地球温暖化」が進んだら、私たちの未来はどうなってしまうのか。考えれば考えるほど心配になってくる。「地球温暖化」をくい止めなくてはならない。そのためには、みんなで「地球温暖化」について考え、行動を起こすことが必要だと思ふ。取り組みのヒントは身近なところにあるそう。頑張つて、「地球温暖化」をくい止めよう。

「ストップ！地球温暖化」